

川崎異業種研究会（以下略称川異研）は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で25年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 10月定例会（国外視察会）

10月6日(土)～10日(水)【3泊5日】、紀中会長、全副会長を含めた会員13名、事務局1名【全14名】の参加を得て、ベトナム国外視察会が行われた。

1日目は成田国際空港より、空路ホーチミン市へ。2日目はホーチミン市内にある、ベントイン市場、統一会堂、国営百貨店、戦争証跡博物館、中央郵便局他を視察した。店舗前の歩道に座って飲食する人達や郊外の田園風景と市内道路を埋め

尽くすバイクの洪水にベトナムの歴史と未来が感じられた。3日目は午前中にホーチミン空港より、空路ハノイ市へ。午後、ハノイ市内にある日系企業のミツビナプラスト有限公司【プラスチック製造】を訪問、事業説明を伺う



とともに工場を視察した。4日目は現地企業のGARCO 10 COMPANY(MAY 10)【紳士・婦人服製造】及びHAN OI PLASTICS COMPANY【プラスチック製造】を訪問、事業説明を伺うとともに事業所、工場を視察した。5日目は深夜、ハノイ市内の空港を出発、早朝に成田国際空港に到着し、有意義な国外視察会は終了となった。



## 10月分科会

10月24日(水)午後6:30～7:50、中原市民館第1会議室にて、会員12名、見学者2名、学生4名の参加を得て開催した。

財団法人消防科学総合センター 黒田洋司研究開発部統括研究員を招き、「指導者としての防災といざという時に役立つ知識」をテーマに、講演はすすめられた。

まず、東京帝国大学 今村明恒教授による関東大震災をその20年前に予想したレコード録音を聞いた。

また、今村教授は「師範室（総務省消防庁・防災・危機管理e-カレッジ）」の中で、地震予知がされても、地震知識・耐震構造の普及なくして地震対策はあり得ないと記している。

次に、川崎における地震の被害想定、また、被害時の心理状態がどのような行動を及ぼすか述べられた。

最後に、大地震の発生を想定してイメージトレーニングを行い、6つのシーンに対してポイントが示された。

地震への心構えを改めて考えさせられる好機となった。



加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191